



# みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局  
 清水港湾事務所  
 御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港分室  
 静岡市清水区日の出町7番2号  
 TEL. 054-352-4146  
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

## 田子の浦港中央地区多目的国際ターミナル着工記念式典を開催



山口中部地方整備局副局長の挨拶

県内第2位の貨物量を有する田子の浦港は、木材チップ、紙・パルプ、とうもろこし等の原材料の輸入と、重油、石油製品、セメント等の移入を取り扱っている重要港湾です。

しかし、昭和42年に整備された水深9mの岸壁は約40年が経過し、施設の老朽化が進むと共に、近年の大型化した船舶に対して水深が足りないため、喫水調整（事前に他の港で積荷の量を減らすなどの調整を行い、浅い水深でも航行できる状態に調整すること。）をして入港するなどの問題が生じています。

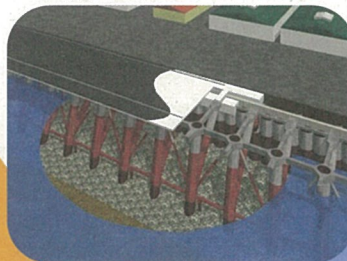
そのような問題を解決すべく、平成23年を目途に、既存の岸壁を多目的国際ターミナルとして水深12mに増深すると共に、耐震改良を行う事となりました。

それにあたり、平成19年2月12日（月）に田子の浦港中央地区多目的国際ターミナル（静岡県富士市）の「着工記念式典」を開催しました。当日の記念式典では、主催者として山口清一 中部地方整備局長、藤野公孝 国土交通大臣政務官が挨拶し、当日は天候にも恵まれ多くの報道人や約100名の参加者により盛大に行われました。斉藤斗志二 衆議院議員、鈴木尚 富士市長、古川博一 静岡県知事代理（土木部長）、遠藤榮 静岡県議会議員、渡辺敏昭 富士市議会議員、石井利平 田子の浦港利用促進協議会会長より祝辞をいただき、その後、澤田 清水港湾事務所長より事業概要の説明や、セレモニーとして、作業船による「陸上鋼管杭」（岸壁控え杭）の杭打ち式を行いました。

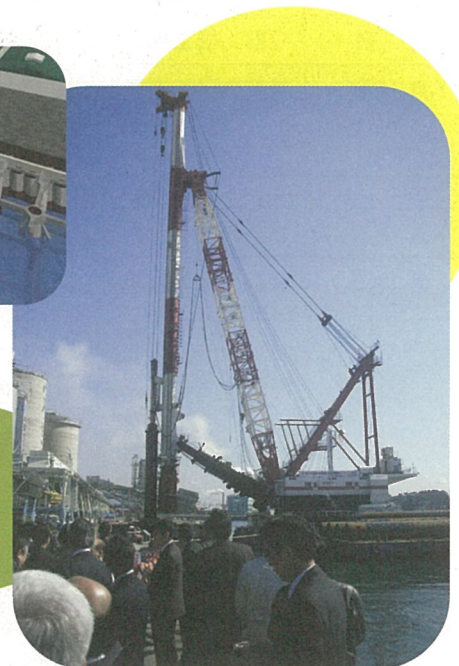
パネルを使い説明をする澤田所長



岸壁イメージパース



作業船起動スイッチを押す様子

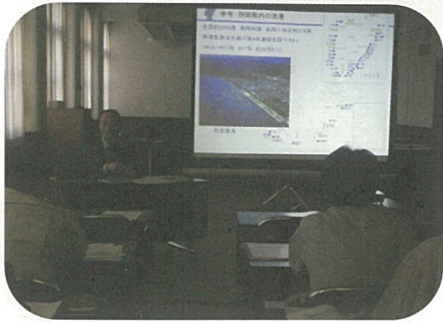


作業船による控え杭打設の様子





平成19年1月31日(水)に「まち(静岡)づくり塾」の出前講師として、90分の講義をしてきました。研修生は静岡市建設局土木部を中心とした技術系の職員約60名で、これまでに維持管理、危機管理等テーマを決めて何度か開催されているということで、皆さん熱心に聞いていただきました。



私もこの職場に来るまでは、あまり港のことは知らなかったというのが正直なところでしたので、清水港の地域のものづくりを中心とした産業の基盤としての役割や、生活物資の輸入などで果たしている役割、港と幹線道路との連絡の重要性についてわかりやすく話

しました。これからも、講演等のご依頼があれば積極的に出向き、多くの方に港の役割をご理解いただけるようにしたいと思います。

清水港湾事務所長 澤田泰征

\* 出前講師とは… 職員が各種の知見を地域社会に還元し、併せて、地域との交流を深めることにより、地域との信頼関係を高め総理解の一層の増進に寄与することを目的とし、職員が学校や各関係団体等に出向き、講演を実施している。

## お知らせ

平成19年1月29日(月)から、御前崎港事務所の郵便番号が変更になります。

〒421-0603が **〒437-1623** に変わります。 \*住所、電話番号の変更はありません。

## みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。

2月2日	北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所
2月9日	(財)国土技術研究センター
2月14日	静岡大学教育学部附属浜松小学校4年生



見学会で遊覧船内から海を眺める様子

## 管内の主な動き

1月18日	地すべりフォーラム2007 in 由比	2月12日	田子の浦港多目的国際ターミナル着工記念式典
2月13日	西部地区貿易懇談会 清水港セミナー	2月16日	静岡県地方港湾審議会

## 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

**0120-497-370**

受付時間: 9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください